

平成 29 年度(2017年度) 事業報告

自 平成 29 年10月1日
至 平成 30 年9月30日

一般社団法人 日本野球機構

日本野球機構は、野球が我が国の社会的な公共財であるとの認識の下、これを普及して国民生活の明朗化と文化的教養の向上をはかるとともに、野球事業の推進を通してスポーツの発展に寄与し、我が国の繁栄と国際親善に貢献することを目的としています。下記は、いずれもこの共通の目的を達成する手段であり、2017年度における実績を記したものです。

◆平成29年度(2017年度)に実施した主な事業のトピックス

《公益目的事業》

・「低年齢児童に対する野球ふれあい体験事業」

本年7月に東京大学及び明治大学の両野球部の学生と「東大スポーツデー」を在京4球団(巨人、横浜、ロッテ、西武)サポートのもとに共同主催し、また8月には侍ジャパン高校代表と「U-18侍ジャパンキッズアカデミー」を同様に在京2球団(ヤクルト、巨人)のサポートを受けて実施しました。この2事業はプロ野球と学生野球が長い歴史のなかで、“野球の普及”目的のために協働した初めての試みとなり、またNPBプロ球団のアカデミーノウハウと学生の活力が融合した子供たちに大変喜ばれる取り組みとなりました。今後の普及活動の基軸事業の一つとして引き続き推進してまいります。

・「プロ野球80周年記念事業 NPB 未来の侍プロジェクト」

2014年に開始された「ベース・ウォール寄贈事業」では、今年度新たに5基を設置し、計画通り全都道府県48基(東京のみ2基)の設置を完了いたしました。使用状況の確認を実施し、継続的な活用が行われるよう方法を探ってまいります。

・「ベースボール型授業研究会」

2012年の開催から77回を実施し、延べ4,100人の教職員が参加。今年度は22回約1200人が参加しており、学校体育のモデル授業として着実に全国に普及しています。

・「競技者登録システム」

普及・振興活動の指標となる野球競技人口の把握に向けたシステム開発については、システム要件定義と開発コンペを経てベンダー1社を選定し、アマチュアへの開発提案を行いました。現在、開発着手に向け、アマチュアとの調整を継続して行っています。

・「プロ野球通算10万号達成記念プロジェクト事業」

昨年9月にオリックスのマレーロ選手が達成した「プロ野球通算10万号ホームラン」を記念して12球団それぞれからファン代表を選出し「憧れの選手と1打席対決」を全球団本拠地球場で実施いたしました。

・「公式記録講習会」

社会人、大学、高校の全国大会前にアマチュアの公式記録員を対象に、NPB記録員による公式記録講習会を初めて実施しました。誤りやすいプレイの事例映像を用いて解説・説明を行い好評を得ました。

・「試合時間短縮化への取り組み」

プロ野球の試合をスピーディーに運ぶ取り組みとして試合時間の短縮化に取り組んでいますが、昨季は3時間8分と5年ぶりの3時間1桁台を回復したものの、今季は3時間13分となりました。リクエスト制度の導入や5回裏終了時のイニングインターバルが長くなっていることなどが主な要因と考えられ、これらを踏まえ対応を検討してまいります。

《収益事業等》

・公式戦や日本シリーズ等の開催とそれに伴う事業については計画通りに遂行いたしました。

また東京五輪が開催される2020年の日程対策については引き続き検討を進めており、効果的な日程作成を目指します。

・国際大会に関しては、初開催となったアジアプロ野球チャンピオンシップの開催、2018年3月日本代表強化試合(対オーストラリア)を実施いたしました。

・プロ野球ファンへのサービス向上とプロ野球の訴求力向上、および新たな収益源確保のため、eスポーツ事業を新たに立ち上げました。具体的には、2つのeスポーツ大会「eBASEBALL パワプロ・プロリーグ2018(NPB・コナミ社の共催)」、「NPBe スポーツシリーズ スプラトゥーン2(NPB 主催)」の開催発表を行い、来年度の大会開催に向け、準備を行っています。

《その他目的を達成するために必要な業務》

- ・暴排活動においては中央協議会の開催、春季キャンプでの講習、行為防止ポスター、小冊子を作成。
- ・職員向けの研修を充実化。階層別研修、ハラスメント研修(管理監督者)、契約書研修(新入社員)、稟議書研修(NPBE)、コンプライアンス研修(各部署単位)を実施しました。
- ・また危機管理対応の強化策として、危機管理マニュアルの作成、安否確認システムの安定運用を実施。
- ・医事委員会活動では、血液ドーピング検査を導入いたしました。
- ・NPBリプレイ検証制度「リクエスト」の新ルール実施

◆ 実施事業の詳細

《公益目的事業(野球振興事業)》

【野球振興事業の実施】

◇NPB12球団ジュニアトーナメント2017 supported by 日能研の開催

- ・2017年12月27日(水)～29日(金) 札幌ドーム

◇NPBガールズトーナメント全日本女子学童軟式野球大会開催

- ・2018年8月8日(水) 開会式 坊っちゃんスタジアム(愛媛県松山市)
- ・2018年8月9日(木)～13日(月) マドンナスタジアムほか愛媛県内4会場

◇教員のための「ベースボール型」授業研究会の開催

「みんなが輝く やさしいベースボール型事業」指導用教材(DVD付)を使用し、球団からの講師派遣協力を得て日本各地で野球方授業研究会を開催。

[大規模開催]

- ・2018年8月20日(月) メットライフドーム(埼玉県所沢市) 参加213人

[小規模開催] 合計21会場 参加約1,000人

- ・2017年11月6日(月) 愛媛・愛媛大学教育学部附属小学校
- ・2017年12月17日(日) 佐賀・佐賀市立新栄小学校
- ・2017年12月22日(金) 大阪・泉大津市立総合体育館
- ・2018年5月17日(木) 福井・福井県営体育館
- ・2018年5月25日(金) 群馬・桐生市青年の家体育館
- ・2018年7月25日(水) 北海道・倶知安町総合体育館
- ・2018年7月25日(水) 群馬・高崎アリーナ
- ・2018年7月26日(木) 北海道・石狩市サン・ビレッジいしかり
- ・2018年7月26日(木) 三重・熊野市立井戸小学校
- ・2018年7月27日(金) 石川・加賀市立山代中学校
- ・2018年7月27日(金) 山梨・北杜市長坂総合スポーツ公園野球場
- ・2018年7月31日(火) 秋田・大館市秋田職業能力開発短期大学校
- ・2018年7月31日(火) 熊本・菊池市立七城小学校
- ・2018年8月6日(月) 熊本・熊本市立出水南小学校
- ・2018年8月7日(火) 宮崎・都城市高城運動公園
- ・2018年8月7日(火) 熊本・玉名市立横島小学校
- ・2018年8月23日(木) 島根・出雲市浜山公園体育館

- ・2018年8月24日(金) 広島・東広島市東広島運動公園体育館
- ・2018年8月24日(金) 東京・福生市中央体育館
- ・2018年8月25日(土) 福岡・福岡市自彊館中学校

◇野球指導者講習会(BCC)の開催

(一財)全日本野球協会と共催してアマチュア指導者向けの講習会を開催。

- ・2018年1月12日(金)、13日(土)、14日(土) 国立オリンピック青少年総合センター

◇学生野球資格回復制度の運営

プロ野球出身者が学生野球を指導する際に必要となる資格の得喪管理と研修会の実施・運営を行った。

・NPBプロ研修会

- 2017年12月8日(金) 筑波大学東京キャンパス
- 2017年12月15日(金) 関西大学東京キャンパス

・学生野球研修会

- 2017年12月9日(土)～10日(日) 立教大学池袋キャンパス
- 2017年12月16日(土)～17日(日) 関西大学千里山キャンパス

◇侍ジャパン「野球指導者スキルアップ講習会」の開催

日本代表経験のある元プロ野球選手及び有識者による小中学生の軟式野球指導者を主な参加対象とした講習会を実施。合計296名が参加。

- ・2017年11月25日(土) 鹿児島県日置市ちえすと小鶴ドーム
- ・2018年12月16日(土) 静岡市草薙総合運動場
- ・2018年1月27日(土) 石川県小松市こまつドーム

◇未来の侍プロジェクト「ベース・ウォール寄贈事業」ボール的当用の壁 設置事業

- ・2017年10月15日(日) 沖縄・那覇市立真和志小学校
- ・2017年10月28日(土) 栃木・那須烏山市立烏山小学校
- ・2017年11月22日(水) 島根・浜田市島根県立石見海浜公園
- ・2018年3月18日(日) 岡山・倉敷市倉敷スポーツ公園
- ・2018年4月27日(金) 鹿児島・出水市高尾野運動公園

◎全都道府県寄贈完了(東京都は2基設置)

◇未就学児等低年齢児童に対する野球ふれあい体験事業

大学生及び高校生野球部員とプロ球団アカデミーが協働して低年齢児童との野球ふれあい体験を実施。プロ球団と学生野球が「野球の普及振興」を目的に取り組む画期的な試みとして大きな成果を果たした事業。

- ・2018年7月1日(日)「東大スポーツデー」東大球場
- ・2018年8月28日(火)「U-18侍ジャパンキッズアカデミー」明治神宮球場

◇公式記録講習会

社会人、大学、高校の各全国大会開催直前にアマチュアの公式記録員に対して記録解釈に関する講習会をNPB記録員が実施。記録をつける上で誤りやすいプレイについて実際の映像を用いて説明、解説した。

- ・2018年3月22日(木) 選抜高等学校野球大会公式記録員対象 毎日新聞大阪本社
- ・2018年6月9日(土) 全日本大学野球選手権大会公式記録員対象 全日本大学野球連盟
- ・2018年7月12日(木) 日本選手権公式記録員対象 東京ドーム
- ・2018年8月3日(金) 全国高校野球選手権大会公式記録員対象 朝日新聞大阪本社

【研究・調査】

◇競技者人口把握のためのシステム開発

システム開発に向けた要件定義、開発業者コンペを実施してアマチュア団体に提案を行った。

◇試合時間短縮化実現に向けた取り組み(ゲーム・オペレーション委員会)

- ・試合時間計測・分析

リクエスト制度の導入と投球間隔の延長、5回裏終了時のイニングインターバルの伸延により、平均試合時間が前年比5分増となる。

・ゲームオペレーション・ブックの発行

2018年版を作成し、12球団および審判部他へ配布。試合時間短縮化に向けた意識付け等啓蒙活動を継続実施。

・スピードアップ表彰

スピードアップに貢献したチーム、投手、打者をセ・パ両リーグからそれぞれ1名を選出して、「スピードアップ賞」を贈呈。

◇日本野球協議会「普及振興活動状況調査2018」

NPB12球団及びプロ野球関係団体、(一財)全日本野球協会傘下の全アマチュア団体へ野球に関する普及・振興事業の実態調査を行った。約5,000事業の回答が寄せられ、次年度にかけて集計・分析作業を進めている。

◇野球外傷・障害予防研究

外傷・障害予防ガイドラインの作成に向け、(公財)日本スポーツ協会及び(公財)スポーツ安全保険協会と保険事故通知データの分析等、共同研究に関する協議を継続中。

【復興支援事業】

◇東日本大震災および平成28年熊本地震への復興支援および寄付活動

マイナビオールスターゲーム2018において、東日本大震災での避難者招待企画、平成28年熊本地震の復興支援試合の開催及びチャリティーオークションを実施

◇東日本大震災復興支援野球教室の開催（被災地で野球教室等）

・2017年12月9日(土)ベースボールフェスタin福島～プロ野球選手と遊ぼう～

福島県南相馬市スポーツセンターにて開催。12球団12選手とマスコットが参加し、県内外の小学生約250人と触れ合った。

【助成事業】

◇日本野球機構補助金規程に則り、野球または野球を含むスポーツの振興またはその援助を目的とする公益的団体を対象とした寄付金、助成金事業

- ・公益財団法人野球殿堂博物館
- ・公益社団法人全国野球振興会(プロ野球OBクラブ)
- ・公益財団法人日本野球連盟(JABA)
- ・NPO法人アオダモ資源育成の会
- ・一般社団法人全日本女子野球連盟

【アマチュア球界との交流】

◇日本野球協議会の運営

日本野球機構と(一財)全日本野球協会で構成される日本野球協議会の各種委員会等において協議を行った。

- ・幹事会
- ・運営小委員会
- ・各委員会(普及・振興、侍ジャパン強化、マーケティング、オペレーション、国際)
- ・その他各種部会

◇プロ野球選手によるシンポジウム「夢の向こうに」の開催

・2017年12月9日(土)青森県・盛運輸サンドームにて開催

◇野球規則委員会においてプロ、アマ合同でルール研究会を実施

- ・プロアマ審判技術専門部会の開催
- ・第17回プロアマ審判学校を開催

【国際交流】

◇WBSC(世界野球ソフトボール連盟)への協力活動

◇国際試合の招致活動

◇国際審判員、技術員として、NPB審判員及び審判指導員を各種国際大会に派遣

◇野球指導教材外国語版を使用し、国際協力機構(JICA)との連携を図り、海外での野球普及活動支援。

【新人選手・プロ野球選手OBへの取り組み】

◇新人選手選択会議(ドラフト会議)、育成選手ドラフト

・2017年10月25日(木)に実施

◇新人選手研修会

・2018年 1月11日(木)に実施

◇セカンドキャリアサポート事業

・フェニックス・リーグ参加の現役選手への意識調査を実施

・退団者の動向調査を実施

・セカンドキャリアサポートマガジン「NEW BALL」の編集および発行

◇支配下10年以上養老補助制度事業

◇退団選手一時金制度の実施

◇監督、コーチ、選手の国民年金基金への加入に関して、12球団と協力して加入促進活動と基金への申込取次を実施

【球界内への取り組み】

◇野球協約の発行及び解釈に沿っての紛争解決

◇日米間、日韓間、日台間など、NPBと外国プロ野球組織との間の選手契約協定に従い、ルールの解釈、身分照会、紛争処理の実施

◇審判の育成、研修

・NPBアンパイア・スクールの開催

・審判員のトレーニング実施(米国審判学校への派遣)

・研修審判員のトレーニング実施

◇NPB選手関係委員会と選手会との事務折衝

◇2018年公認野球規則の編集および発行と配布

《収益事業等(野球奨励促進事業)》

【プロ野球公式戦の開催とそれに伴う業務】

◇2018年シーズン試合日程の編成、発表

◇パシフィック、セントラル野球連盟年度連盟選手権試合運営管理

・公式戦における試合日程、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続

◇ウエスタン、イースタン・リーグ年度選手権試合運営管理

・公式戦における試合日程管理、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続

◇選手登録の管理運営

・選手登録・異動手続、FA日数管理

◇非公式試合(教育リーグを含む)管理

・日程発表・管理 審判派遣、審判経費処理

◇みやぎフェニックス・リーグ運営管理

・試合日程作成・発表 宮崎市との運営連携 参加球団との連絡

◇NPB AWARDS 2017の開催、パートナーパーティーの実施

◇記録達成時表彰、記者投票による表彰の管理

◇各リーグアグリーメントの発行

◇イースタン・リーグ観戦ガイドの発行

◇グリーンブック2018(セントラル野球連盟ガイドブック)の発行

◇ブルーブック2018(パシフィック野球連盟ガイドブック)の発行

- ◇両連盟選手権試合へのNPB契約審判員、記録員の派遣業務
(日本選手権シリーズ、ファーム日本選手権およびフレッシュオールスターゲームは当法人の主催試合)

【試合の主催、開催支援、運営】

- ◇ファーム日本選手権の開催
 - ・2017年10月7日(土) 宮崎県・KIRISHIMA サンマリンスタージアム宮崎にて開催
- ◇日本選手権シリーズの開催
 - ・2017年10月28日(土)から福岡ヤフオクドーム、横浜スタジアムにて開催
三井住友銀行が冠協賛社となり、「SMBC日本シリーズ2017」として開催
- ◇フレッシュオールスターゲームの開催
 - ・2018年7月12日(木) 青森県・弘前市(はるか夢球場)にて開催
- ◇オールスターゲーム(12球団共催)の運営
 - 「マイナビオールスターゲーム2018」として開催
 - ・2018年7月13日(金) 第1戦:京セラドーム大阪
 - ・2018年7月14日(土) 第2戦:リブワーク藤崎台球場(熊本県) *復興支援試合として開催
- ◇国際試合における開催支援
 - ・2017年11月16日(木)～2017年11月19日(日)アジアプロ野球チャンピオンシップ開催支援
 - ・2018年3月3日(土)～2018年3月4日(日)ENEOS 侍ジャパンシリーズ開催支援
- ◇二次映像等の使用許諾管理
 - ・NPB管理試合における映像二次使用管理業務
- ◇グッズの制作、販売管理
 - ・NPBが運営する大会のオリジナルグッズ制作・販売
 - ・NPBショップ運営管理
- ◇NPBマークの管理および球団およびメーカーへの手配・販売
- ◇NPB CIC(写真素材管理サービス)の運営管理・改善業務とファンへのオールスター写真販売

【国際大会の運営、参加】

- ◇新しい国際大会「アジアプロ野球チャンピオンシップ」の主催
- ◇日本代表チームを編成、派遣

【試合以外の収益確保】

- ◇新たな収益源となるビジネスモデルの立ち上げの考察
- ◇12球団との会議の開催、運営、案件とりまとめ
- ◇12球団プロパティ、選手肖像の管理業務代行
- ◇プロ野球データ活用プラットフォーム NPB BIP(Baseball Data Innovation Platform) 1.0 版の試用運転開始
- ◇e スポーツ事業「eBASEBALL パワプロ・プロリーグ 2018(NPB・コナミ社共催)」の開催発表と運営を開始し
eドラフト会議(9月29日)を開催
- ◇e スポーツ事業「NPB e スポーツシリーズ スプラトゥーン2(NPB 主催)」の開催発表

【記録データの管理】

- ◇公式記録の作成、管理、運用
 - ・非公式戦、公式戦への記録員の派遣
 - ・2017年公式戦、日本シリーズ及びオールスターのスコアカードの電子化作業
 - ・オフィシャルベースボールガイド2018、ブルーブック、グリーンブック等各種出版物の作成
 - ・公式記録をベースボール・インフォメーション・システム(BIS)検索サービスで提供、速報記録等のメディア配信

- ・1950年代の過去データのBISへの入力作業

《その他目的を達成するために必要な業務》

【広報活動】

- ◇オフィシャルベースボールガイド2018の発行
- ◇プロ野球に関する情報発信事業(報道各社宛リリース、ホームページ)
- ◇NPBイベント広報対応、成績・記録等のNPB公式記録広報対応、取材対応
- ◇NPBプロモーション映像制作(球場ビジョン用、テレビ野球中継用)
 - ・開幕前に「ドンマイマイフレンド」「野球場へゆこう」の映像制作
 - ・12球団フランチャイズ球場ビジョンで今シーズン中放映
- ◇NPBスローガンポスター制作、発表
 - ・開幕前にポスター制作＝実施
 - ・12球団フランチャイズ球場だけでなく、地方球場、マスコミ等にも発送
- ◇NPB手帳制作
- ◇12球団ファンブックへの広告掲載
- ◇プロ野球取材ID発行

【検査および調査】

- ◇公式戦使用球(統一球)検査
- ◇折損バットの調査

【暴排活動】

- ◇プロ野球暴力団等排除対策協議会の中央協議会を開催
- ◇春季キャンプ中に全選手を対象に有害行為防止講習を実施
- ◇有害行為防止のポスター、小冊子を作成
- ◇みやぎフェニックス・リーグでの暴排講習を実施

【会員間の連絡、親善】

- ◇12球団役職員名簿の制作、配布
- ◇NPBマーク、商標権の管理

【NPB組織強化】

- ◇適正な労務管理実施に向けた施策の検討
- ◇職員向け各種研修(階層別、ハラスメント、コンプライアンス、契約書、稟議書など)の実施
- ◇内部監査の徹底

【地球温暖化防止活動「グリーンベースボールプロジェクト」への取り組み】

- ◇公式戦などで出場者がグリーンリストバンド着用することによる活動PR
- ◇グリーンリストバンドを販売し、売り上げを植林活動へ寄付

【アンチ・ドーピング活動】

- ◇アンチ・ドーピング選手手帳の制作・配布を通じた啓発活動
- ◇ドーピング検査の実施
- ◇血液ドーピング検査の導入

【NPB リプレイ検証制度「リクエスト」新ルールの実施】

◇2017年シーズン中から「リプレイ検証検討委員会」を立ち上げ検討を進め、これまでリプレイ検証対象だった「本塁打性の打球、本塁コリジョン、封殺時の危険スライディング」以外の判定を対象としたNPB独自のリプレイ検証制度を確立。2018年1月25日には「12球団監督会議」を実施し、2018シーズン開幕から本格導入。

以上